



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アスモ

コード番号 2654 URL <http://www.asmo1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長井 尊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室室長

(氏名) 岡田 秀樹

TEL 06-6683-3101

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,286	49.8	501	165.7	505	180.8	390	147.4
25年3月期第1四半期	2,194	20.2	188	20.2	180	27.5	157	8.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 425百万円 (172.3%) 25年3月期第1四半期 156百万円 (18.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2.79	—
25年3月期第1四半期	1.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	4,571	2,730	55.0	17.94
25年3月期	4,087	2,304	51.8	15.09

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,515百万円 25年3月期 2,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,298	40.4	791	110.6	816	123.8	654	114.2	4.66
通期	12,737	29.0	1,587	95.1	1,636	99.3	1,304	69.8	9.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	151,451,750 株	25年3月期	151,451,750 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	11,242,601 株	25年3月期	11,242,601 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	140,209,149 株	25年3月期1Q	140,209,149 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済対策や日本銀行による金融緩和により、円高是正、株価回復が進み、企業収益や個人消費に改善の動きが見られるなど、緩やかな回復基調となりました。

しかしながら、欧州債務危機問題や中国経済の減速懸念などの不安要素もあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、平成25年4月1日付でそれぞれの事業分野における迅速・的確な対応、事業分野に適応した人材の育成・教育・採用、事業分野に特化した判断による業務の効率化、経営責任の明確化、将来を担う経営者の育成を目的として、卸売事業を営む㈱アスモトレーディング、給食事業を営む㈱アスモフードサービスを新設分割の方法により設立いたしました。

今後、当社は持株会社として経営戦略業務に特化し、各子会社は前述新設分割の目的を達成することで事業規模の拡大と経営基盤の強化をはかり、グループ全体の企業価値の向上に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,286百万円（前年同四半期比 49.8%増）、営業利益501百万円（前年同四半期比 165.7%増）、経常利益505百万円（前年同四半期比 180.8%増）となり、当第1四半期連結累計期間における四半期純利益は、390百万円（前年同四半期比 147.4%増）となりました。

主なセグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、当第1四半期連結累計期間より経営管理区分の見直しを行い、以下のようにセグメントを変更しております。また、前年同四半期情報に関しましては、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ各社の統制・管理、不動産の賃貸
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス)	高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)	高齢者介護施設の入居斡旋・訪問介護事業所の展開
OX (H. K.) 事業 (OX(H. K.) COMPANY LIMITED)	香港において、外食店舗の運営
その他 (サーバンストラスト信託株式会社)	信託事業

① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、穀物価格高騰による飼料価格の上昇や円安の進行による原材料輸入価格の上昇、原油高による運送・保管料等の上昇により、仕入コストが急激に増加し販売価格に転嫁することができませんでした。

販売に関しては、当社の特徴であるメキシコ産商品の供給により他社との差別化を図ることで、安定的な取引を継続することができました。今後は、メキシコ産商品に加えて米国産牛肉や畜種の取扱いを増やし、合わせて当社独自の視点により日本のマーケットに見合った商品を開発することで、既存顧客の満足度の向上と新規顧客の拡大で販売の増加に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、457百万円、セグメント利益（営業利益）は、1百万円となりました。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、お客様の嗜好、施設様のニーズに合わせて食事を提供させていただくために、給食会議や懇談会等からご意見を賜り、よりお客様にご満足いただけるように努めております。

また、お客様の嗜好に合わせてメニューを選ぶ事ができるセレクト食やその他として、噛み砕くことや飲み込むこと等が困難な方にミキサー・ソフト食なども対応しております。

さらに、マグロ解体ショー、握り寿司イベント、そば打ちイベント、パティシエイベント等を基本とし、職人の技術と吟味された食材をお客様に提供するため各種イベントにも対応し、お客様に喜ばれる企画をご提案させていただきます。

今後ともお客様の立場にたった提供を心がけ、さらに日々の健康管理にも寄与できればと考えております。

なお、当第1四半期連結会計期間末時点における受託施設数（労務委託等の部分委託を含む）は、259施設（前年同四半期末時点は196施設）となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,588百万円、セグメント利益（営業利益）は、52百万円となりました。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、高齢者介護施設の入居斡旋業務に加え、前期に当社100%子会社である株式会社アスモ介護サービスを設立し、訪問介護の分野に進出いたしました。

新たに開始しました訪問介護につきましては、事業の開始以来積極的な事業所の開設を進めており、当第1四半期連結会計期間末時点において、31事業所（大阪府内10事業所、埼玉県内6事業所、神奈川県内4事業所、千葉県内3事業所、東京都2事業所、他6事業所）を設置し、ご契約者数は1,343名となっております。

今後におきましても、関東を中心に事業所の営業を開始し、ご契約者数は大幅に増加すると考えております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、814百万円、セグメント利益（営業利益）は、339百万円となりました。

④ OX（H. K.）事業

OX（H. K.）事業におきましては、連結子会社であるOX（H. K.）COMPANY LIMITEDが、1979年の会社設立以来、香港にて外食店舗を運営しております。

なお、業態につきましては、以下のとおりであります。

業 態	特 徴	店舗数
秀吉・焼肉屋	お好み焼き・たこ焼き・大判焼き等の大阪の粉もん文化をコンセプトにしたファストフード店	5
今 助	うどんを中心に寿司や天婦羅を組み合わせた、御膳メニューの和食店	2
山 頭 火	ラーメン「山頭火」のフランチャイジー	1
北 の 坂	スパゲティ・オムライス・カレーライス等の日本の洋食を凝縮したファストフード	3
蔵 人	豊富な和食メニューを取り揃えた居酒屋	2
合 計		13

今後におきましても、本格的な和食の浸透に向け、食材にこだわり「秀吉・焼肉屋（ヤキマッセ）」「今助」を中心に、立地条件にあった業態店舗を出店してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、417百万円、セグメント利益（営業利益）は、29百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,571百万円となり、前連結会計年度末に比べ483百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が285百万円、受取手形及び売掛金が137百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,840百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が61百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,730百万円となり、前連結会計年度末に比べ425百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益390百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は55.0%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月13日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結累計期間において、当社は平成25年4月1日付でそれぞれの事業分野における迅速・的確な対応、事業分野に適応した人材の育成・教育・採用、事業分野に特化した判断による業務の効率化、経営責任の明確化、将来を担う経営者の育成を目的として、卸売事業を営む㈱アスモトレーディング、給食事業を営む㈱アスモフードサービスを新設分割の方法により新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	674,004	959,803
受取手形及び売掛金	1,288,914	1,426,167
商品	266,011	291,035
貯蔵品	11,957	12,711
繰延税金資産	446,616	473,809
その他	73,013	104,223
貸倒引当金	△2,104	△3,912
流動資産合計	2,758,414	3,263,836
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	575,331	564,359
有形固定資産合計	575,331	564,359
無形固定資産		
のれん	572,306	554,695
その他	2,242	3,713
無形固定資産合計	574,549	558,409
投資その他の資産		
その他	513,477	504,039
貸倒引当金	△334,412	△319,448
投資その他の資産合計	179,064	184,591
固定資産合計	1,328,945	1,307,360
資産合計	4,087,359	4,571,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	395,497	383,391
短期借入金	406,208	406,208
未払法人税等	199,427	123,444
賞与引当金	116,047	177,798
返品調整引当金	8,051	9,976
その他	609,026	689,924
流動負債合計	1,734,258	1,790,744
固定負債		
長期借入金	8,974	8,104
退職給付引当金	31,397	34,158
その他	8,089	7,568
固定負債合計	48,461	49,832
負債合計	1,782,720	1,840,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	△2,600,681	△2,209,759
自己株式	△42,303	△42,303
株主資本合計	2,054,631	2,445,553
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	60,830	70,188
その他の包括利益累計額合計	60,830	70,188
少数株主持分	189,176	214,878
純資産合計	2,304,639	2,730,620
負債純資産合計	4,087,359	4,571,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,194,009	3,286,674
売上原価	1,561,530	2,204,162
売上総利益	632,478	1,082,512
返品調整引当金戻入額	10,193	8,051
返品調整引当金繰入額	7,227	9,976
差引売上総利益	635,444	1,080,587
販売費及び一般管理費	446,764	579,290
営業利益	188,679	501,297
営業外収益		
受取利息	25	16
為替差益	—	6,661
その他	1,902	198
営業外収益合計	1,928	6,876
営業外費用		
支払利息	3,119	2,170
為替差損	4,607	—
その他	2,838	468
営業外費用合計	10,565	2,639
経常利益	180,042	505,534
特別損失		
固定資産売却損	36	—
賃貸借契約解約損	—	420
その他	—	36
特別損失合計	36	456
税金等調整前四半期純利益	180,005	505,077
法人税、住民税及び事業税	16,186	123,821
法人税等調整額	—	△26,375
法人税等合計	16,186	97,445
少数株主損益調整前四半期純利益	163,819	407,631
少数株主利益	5,823	16,709
四半期純利益	157,995	390,922

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	163,819	407,631
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,385	18,349
その他の包括利益合計	△7,385	18,349
四半期包括利益	156,433	425,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,229	400,280
少数株主に係る四半期包括利益	2,204	25,701

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	440,216	309,613	1,382,169	62,010	2,194,009	—	2,194,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	440,216	309,613	1,382,169	62,010	2,194,009	—	2,194,009
セグメント利益	20,666	19,208	178,520	43,939	262,335	△73,656	188,679

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	262,335
のれんの償却額	△6,090
全社費用(注)	△67,566
四半期連結損益計算書の営業利益	188,679

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービ ス事業	アスモ介 護サ ービス 事業	OX (H. K.) 事業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	2,059	457,628	1,588,357	814,191	417,583	3,279,821	6,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	166,700	4,404	3,352	—	—	174,457	—
計	168,760	462,033	1,591,710	814,191	417,583	3,454,279	6,852
セグメント利益又は損 失(△)	95,232	1,638	52,317	339,127	29,947	518,262	△16,965

(単位：千円)

	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	3,286,674	—	3,286,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	174,457	△174,457	—
計	3,461,132	△174,457	3,286,674
セグメント利益又は損 失(△)	501,297	—	501,297

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	518,262
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△16,965
四半期連結損益計算書の営業利益	501,297

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、当第1四半期連結累計期間より経営管理区分の見直しを行い、従来の「卸売事業」、「給食事業」、「介護事業」及び「外食事業」を「アスモ事業」、「アスモトレーディング事業」、「アスモフードサービス事業」、「アスモ介護サービス事業」及び「OX (H. K.) 事業」に区分し報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、変更後の区分方法により作成した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

当第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成した情報は次のとおりであります。

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	457,628	417,583	1,588,357	814,191	3,277,761	8,912	3,286,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,404	—	3,352	—	7,757	—	7,757
計	462,033	417,583	1,591,710	814,191	3,285,519	8,912	3,294,431
セグメント利益又は損 失 (△)	5,225	31,347	208,220	344,938	589,731	△14,905	574,825

(単位：千円)

	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高		
外部顧客への売上高	—	3,286,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△7,757	—
計	△7,757	3,286,674
セグメント利益又は損 失 (△)	△73,528	501,297

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	589,731
「その他」の区分の利益又は損失 (△)	△14,905
のれんの償却額	△7,410
全社費用 (注)	△66,117
四半期連結損益計算書の営業利益	501,297

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。